

検証結果報告書

| | |
|-------|-------------------------|
| 条 例 名 | 笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例 |
|-------|-------------------------|

総 括

本条例は、条例の基本理念を基に、おおむね適切に運用されていると認められるが、今後の施策展開については、次の事項に十分留意した運用となるよう、議会としては、引き続きその状況をチェックするとともに、定例会等において、理事者に対し適宜注意喚起を行うこととする。

- ・徳島県の幼児・児童のう蝕割合等、歯科保健衛生の水準が全国より劣る原因や理由について、十分検討を行い、導き出した課題や要因に対応した施策の推進に努めること。
- ・徳島県の幼児のう蝕割合は、1歳6か月児健診後から3歳児健診までの間の増加が著しいことから、市町村をはじめ、関係機関と十分連携し、様々な機会を通じた歯と口腔の健康づくりに関する知識を深める取組を行うこと。

ヒアリング結果（運用状況）

| | |
|-------|--|
| 実 施 策 | <p>当該条例を根拠に「徳島県口腔保健推進計画～笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり～」を策定し、施策体系を2本に整理し、歯と口腔の健康づくりを推進するための体制が整備された。</p> <p>①ライフステージ等に応じた歯と口腔の健康づくり ②歯と口腔の健康づくり推進のための環境整備・連携促進</p> <p>平成25年11月1日に、健康増進課内に「徳島県口腔保健支援センター」を設置し、歯科医師2名、歯科衛生士1名を配置した。</p> <p>徳島県歯科保健推進事業実施要綱により、徳島県8020運動推進特別事業検討評価委員会及び徳島県歯科口腔保健推進事業検討会を設置し、各事業の進捗状況を確認している。</p> |
| 成 果 | <p>学校保健統計調査や3歳児歯科健康調査などの毎年実施されている調査結果から見た状況では、計画策定時のベースラインと比べて、改善傾向を示している。</p> |
| 課 題 | <p>本県の歯科保健衛生の水準については、これまでの取組により改善傾向にあるものの、全国的にも改善傾向にあるため、依然として全国平均には届いていない状況であり、今後は全国を上回るスピードで改善を図っていく必要がある。</p> |
| 今後の取組 | <p>本県の歯科保健衛生の水準が全国平均を下回っている状況を踏まえ、本県歯科口腔保健推進計画に定める基本方針に基づき、乳幼児期から高齢期に至る各ライフステージに応じた様々な歯科口腔保健に関する施策を着実に推進し、これらの取組が推進できる環境整備として、歯科口腔保健に関わる人材の育成をはじめ、医療機関や市町村等の関係機関との連携強化について、引き続きしっかりと取り組み、本県の歯科保健衛生水準の向上に努める。</p> |

主なヒアリング内容

| 確認事項（委員） | 説明（理事者等） |
|---|--|
| ①認知度の低い「口腔保健支援センター」の具体的な業務内容のPRや啓発活動に、今後、どのように取り組んでいくのか。 | <p>平成25年11月に健康増進課内に設置し、県ホームページでの啓発活動、市町村歯科保健事業をはじめ歯科口腔保健に関する情報集約や調査、歯科口腔保健医療従事者研修会のほか、歯科口腔保健担当者会、歯科衛生士連絡会などを実施した。</p> <p>今後は更に関係機関と連携を深めながら、歯と口腔の健康づくりに関する知識を県民に普及啓発していきたい。</p> |
| ②本県の歯科水準が全国より劣っている状況について、どのように考え、どのように認識しているのか。 | <p>本県の歯科水準について、毎年実施されている調査結果から見た状況では、3歳児や12歳児のう蝕割合や、中学生の歯肉に炎症を有する割合など、全国平均より悪い状況ではあるが、経年で見ると、少しずつではあるが改善してきている。</p> <p>糖尿病と歯周病、誤えん性肺炎、在宅歯科診療、口腔機能向上プログラムなど、様々な分野で歯科口腔保健の重要性が認識されてきており、様々な場面で歯科に関する情報に触れる機会が増えてきていることから、県民の歯科意識も向上してきていると思われる。</p> <p>今後は、県民自らが歯と口腔の健康づくりについて再認識し、さらに、定期的に歯科健診を受けるなどの行動につなげられるよう、歯周疾患検診の情報や検診の重要性などについて啓発を強化していきたい。</p> |
| ③歯と口腔の健康づくり推進のための環境整備・連携推進として、人材の確保と資質向上のほかに、県、市町村及び歯科医師会等との連携推進とあるが、具体的には、どのようなことに取り組んでいるのか。 | <p>県歯科医師会から、歯科のない病院に対して歯科医や歯科衛生士を派遣し、地域の歯科医と連携して、歯の治療やクリーニングを行っている。</p> <p>また、各保健所において、高齢者や施設職員を対象とした研修会や関係者会議の開催、県歯科医師会が高校生を対象に作成した歯と食生活に関する普及啓発のチラシを各高校へ配付している。</p> |
| ④家庭の事情等で、健診後の歯科受診ができないう蝕疑いのある子がいる状況について、どのように考えているのか。 | <p>事業主体の市町村においては、健診時う蝕のあった子について電話等で健診後の歯科受診状況の把握に努めているが、全てを把握するまでには至っていない。</p> <p>受診ができていない事情等の把握を含め、市町村に歯科健診の重要性の普及啓発を推進していきたい。</p> |

主なヒアリング内容

| 確認事項（委員） | 説明（理事者等） |
|--|--|
| ⑤市町村が実施する妊娠期の母親への歯科に関する母親教室や健康増進法に基づく歯周疾患健診などの取組について、市町村間で差が生じているが、どのように考えているのか。 | <p>市町村が主体となって行う母親教室や歯科健診等は、早い時期からの生活習慣の改善のためには重要である。</p> <p>県では、市町村の健診データを取りまとめ、適宜、市町村等に向け情報発信を行ってきたところである。</p> <p>今後とも歯科健診の重要性の普及啓発に努めるとともに、市町村において、これらの事業に取り組んでもらえるよう、働き掛けていきたい。</p> |
| ⑥オーラルケア・サポートチームや介護老人施設訪問歯科健診事業を進めていく上で、全ての地域を網羅できているのか。 | <p>自動車で移動できる所については、地域の歯科医と連携して対応している。</p> |
| ⑦保護者の知識を高めるような歯科口腔保健の取組を進めてもらいたい。 （要望） | / |
| ⑧できるだけ多くの関係機関と連携し、歯と口腔の健康づくり推進に関する事業の推進に努めてもらいたい。 （要望） | / |